






(別紙) マザーアース×エコマーク「サステイナブルコスメアワード」選考基準

選考基準は、サステイナブルコスメを通じて貢献できる（関連が深い）SDGsの目標およびターゲットを特定したうえで、それらに関連付けて具体的な基準を設定しています。選考基準のそれぞれの項目に該当する取組をエントリーシートに記述してください。

SDGsの目標・ターゲット	目標・ターゲットを達成するための基準
目標 1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	 <p><b>① フェアトレードによって生産された原材料を使用しているか</b>            使用している場合には、原材料の国際フェアトレード認証の取得有無など具体的な内容を記述してください。            (参考: 国際フェアトレード基準  <a href="https://www.fairtrade-jp.org/about_fairtrade/intl_standard.php">https://www.fairtrade-jp.org/about_fairtrade/intl_standard.php</a>)</p>
目標 8 . 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する	 <p><b>② 従業員の労働に関して、責任ある事業活動を行っているか</b>            以下の観点について、取り組んでいることがあれば具体的な内容を記述してください。            強制労働、児童労働、差別、労働時間、報酬・福利厚生、女性の働きやすさ、若年労働者・妊産婦労働者への配慮、結社の自由、外国人労働者（技能実習生含む）</p> <p><b>③ 組織として人権に関する方針の策定、研修の実施、雇用等の取組を行っているか</b>            以下の観点について、取り組んでいることがあれば具体的な内容を記述してください。            国際的な人権基準（世界人権宣言、ILO条約等）の遵守、人権侵害への関与・加担の防止、差別の防止、ハラスメント防止、女性活動支援、地域住民の権利侵害の確認、障害者雇用、子どもの健全育成の支援、社会的少数者（外国人・</p>

		<p>移民労働者、LGBT 等) の労働者が不利益を被らないための取組、人権侵害の通報窓口の設置</p> <p>(参考: 調査報告書「持続可能な地域社会のための公共調達ガイドブック～サステナブルな地域づくりと組織に求められる 12 の課題」(一財)CSO ネットワーク <a href="https://www.csonj.org/infoarchive/publication/reportbook003">https://www.csonj.org/infoarchive/publication/reportbook003</a>)</p>
<p>目標 12. 持続可能な生産消費形態を確保する</p> <p>12.2 2030 年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。</p>		<p><b>④ 未利用資源や、持続可能に管理された原料を使用しているか</b></p> <p>使用している場合には、未利用資源の内容、オーガニック認証の取得有無など具体的な内容を記述してください。</p>
<p>12.4 2020 年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物資やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。</p>		<p><b>⑤ 有害化学物質を使用していない、または適正にコントロールしているか</b></p> <p>化粧品基準(厚生省告示第 331 号(平成 12 年 9 月 29 日))に従っていることの説明、ならびに化学物質の使用について配慮していることがある場合には具体的な内容を記述してください</p> <p>(参考: 化粧品基準 <a href="https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11120000-Iyakushokuhinkyoku/keshouhin-standard.pdf">https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11120000-Iyakushokuhinkyoku/keshouhin-standard.pdf</a>)</p>
<p>12.5 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。</p>		<p><b>⑥ コスメの容器包装について、軽量化や薄肉化、または環境負荷が小さい素材を使っているか。</b></p> <p>容器包装について軽量化や薄肉化、環境負荷が小さい素材を使っているなどの工夫がある場合には、具体的な内容を記述してください。</p> <p>(参考: エコマーク商品類型 No.140 「詰め替え容器・省資源型の容器 Version1」 <a href="https://www.ecomark.jp/nintei/140.html">https://www.ecomark.jp/nintei/140.html</a>)</p>
<p>12.8 2030 年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。</p>		<p><b>⑦ 包装、パンフレット、ウェブサイトなどに商品の持続可能性に関する情報を掲載しているか</b></p> <p>掲載している場合には、具体的な内容を記述するとともに、掲載部分の写真等を提出してください。</p>

<p>目標 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p> <p>14.1 2025 年までに、海洋堆積物や富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。</p>		<p><b>⑧ <u>マイクロプラスチックビーズを使用していないか。</u></b>  <b><u>また万が一、洗い落としたコスメが海洋や河川に流出した場合を想定し、水生生物に対するリスクが低く、生分解性に優れた原料を使用しているか（界面活性剤など）</u></b></p> <p>マイクロプラスチックビーズの使用がないことの説明、ならびに水生生物に対するリスクが低く、生分解性に優れた原料を使用している場合には、具体的な内容を記述してください。</p>
<p>目標 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p> <p>15.2 2020 年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。</p> <p>15.4 2030 年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。</p>		<p><b>⑨ <u>持続可能性に配慮して生産された原料を使用しているか</u></b></p> <p>使用している場合には、原材料の RSPO 認証の取得有無など具体的な内容を記述してください。</p> <p>(参考：グリーン購入ネットワークウェブサイト) 環境・社会面に配慮したパーム油使用製品」  <a href="https://www.qpn.jp/project/palm/">https://www.qpn.jp/project/palm/</a> )</p>